




事業名	首都直下地震等を見据え、災害に強いまちづくりを進めます！		
ここがポイント	◆東京都による首都直下地震等の被害想定の見直しを踏まえ、災害対策を強化します。	事業費	37,785 千円 (第3回定例会 補正予算額)
概要	<p>令和4年5月、東京都は約10年ぶりに首都直下地震等による東京の被害想定を見直しました。これを踏まえ、区では共同住宅のエレベーターや帰宅困難者に関する対策を強化し、災害に強い安全・安心なまちづくりを一層推進します。</p> <p><b>1 共同住宅における地震発生時のエレベーター閉じ込め対策強化</b> <span style="float: right;">32,340 千円</span></p> <p>首都直下地震の発生時、区内の「閉じ込めにつながり得るエレベーターの停止台数」は1,357台と想定されています。そのうち約3割が共同住宅と見込まれていることから、共同住宅への<b>エレベーター用防災チェアの無償配付の要件を廃止</b>してチェアの普及を促進するとともに、<b>エレベーターに閉じ込められた際の対応訓練を新たに実施</b>し、災害への備えを強化します。</p> <p style="text-align: right;">■開始時期 令和4年11月</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p><b>エレベーター用防災チェアの無償配付</b></p> <p>これまでの配付要件「防災組織が結成されている共同住宅」を廃止し、設置を希望する全ての共同住宅に無償で配付します。</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p><b>エレベーター用防災チェア</b></p> <p>飲料水、簡易トイレ、消臭剤、アルミブランケットなどの非常用品を収納した三角形の椅子型ボックスです。</p>  </div> </div> <p><b>エレベーター閉じ込め対応の出張訓練の実施</b></p> <p>共同住宅を対象に、エレベーター保守事業者の指導のもと、普段利用しているエレベーターで閉じ込められた場合を想定した訓練を実施します。</p> <p>《内容》地震が発生した際の留意事項の説明、エレベーター内インターフォンでの通信体験、エレベーター用防災チェアの収納用品の確認、救出作業体験 など</p> <p><b>2 帰宅困難者対策本部設置におけるVRの活用</b> <span style="float: right;">5,445 千円</span></p> <p>災害発生時、帰宅困難者対策本部の設置を担う「港区駅周辺滞留者対策推進協議会」(※)が、設置の手順や建物の設備、備品の保管場所等を、いざという時に備えていつでも確認できるよう、本部を<b>バーチャルリアリティ(VR)空間で再現</b>し、スマートフォンやPCで手軽に閲覧できるようにします。</p> <p style="text-align: right;">■開始時期 令和4年11月以降</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(※)港区駅周辺滞留者対策推進協議会</p> <p>田町や新橋、六本木など、区内の9つの主要駅ごとに、駅周辺事業者や鉄道事業者等が主体となって帰宅困難者対策を推進する組織です。</p> </div>		
問合せ	<p>課長 防災課 鳥居 ☎ 03-3578-2540(直通)</p> <p>係長 防災課 地域防災支援係 井上 ☎ 03-3578-2516(直通)</p>		